

＜ 芸 術 ＞科 学習シラバス

科 目		音楽Ⅰ	学年・類型	1 年生	単位数	2 単位	教科書	MOUSA 1（教育芸術社）		
学習の到達目標			・歌唱や器楽、創作の表現活動を通して、基礎的な技能を身に付けるとともに、表現する楽しさを味わう。 ・楽譜についての知識を身に付け、読譜能力、記譜能力の向上を図る。 ・鑑賞の活動を通して様々な音楽や文化に触れることにより、多様な価値観を身に付ける。							
評価の観点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	曲想と音楽の構造や歌詞、奏法、文化的・歴史的背景等との関りについて理解している。創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい技能を身に付け、歌唱や器楽で表している。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、表現意図をもったり、自ら味わって聴いたりしている。			曲想と音楽の構造や歌詞、奏法、文化的・歴史的背景等との関りに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			
評価の方法	・学習活動での表現内容 ・筆記テスト ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート			・学習活動での表現内容 ・筆記テスト ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート			・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ワークシート ・レポート			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
				A	B	C				
1 学期	4	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう ○校歌 ○Ave Maria ○翼をください		曲にふさわしい発声などの技能を身に付けるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う。				○		○
	5									
	6	ボディーパーカッションやCUPSに挑戦しよう ○Plymouth Rock ○Clap, Tap with CUPS! ○ソルフエージュ		ボディーパーカッションや身近にあるコップなどを用いたリズム表現を通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。				○	○	
		7	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう ○組曲《動物の謝肉祭》 ○交響曲第9番《合唱付き》		声やさまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを味わう。				○	○
2 学期	8・9	日本や諸外国の歌曲に親しみ表現を工夫して独唱しよう ○この道 ○Caro mio ben ○Heidenroslein		さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して独唱する。				○		○
	10	「コード進行」を元にメロディーをつくらう		多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、イメージをもって創作する。				○	○	
	11	表現を工夫してギターを演奏しよう ○日曜日の使者より ○第三の男		ギターの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。				○	○	
	12	世界の諸民族の音楽を知ろう ○世界の諸民族の音楽 ○京畿道アヒラン		世界各地の音楽を、声や楽器に注目して鑑賞したり歌ったりしながら、その音色や表現の特徴を理解する。				○		○
3 学期	1	オペラに親しみ、アリアに挑戦しよう ○ハバネラ/闘牛士の歌 ○オペラ《カルメン》		物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。					○	○
	2	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう ○《さくら》変奏曲		和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。				○		○
	3	作曲家の生涯と作品をたどろう ○「クローズ・アップ・マエストロ」 J.S. バッハ/W.A. モーツァルト		作曲家の生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解するとともに、根拠をもって曲や演奏を批評する。				○		○
学習のポイント		・楽典の知識をしっかりと身に付け、読譜力、記譜力を鍛える。 ・ワークシートや創作課題、レポートを確実に仕上げる。 ・表現活動の際は積極的に活動し、技能を身に付けるだけでなく創意工夫を生かした表現を心掛ける。								